

2年家庭総合 課題プリント

衣生活分野 No.1

2年 () 組 () 番 名前 ()

1. 被服を着ることは、人間特有の行動である。既に 20 万年前から被服に近いものを身に着けていたことが知られている。そして、被服がなぜ着用されるようになったかはさまざまな説がある。教科書 P184~185 を参考にし、被服の起源を3つまとめてみよう。

- (気候や外敵などから体を守るための身体保護説)
- (体を美しくみせるための身体装飾説)
- (集団の団結や敵を区別するための集団性説) etc...

2. あなたが衣服を購入するときのこだわりポイントを3位まで挙げてみよう！ 下の表を参考に↓

- 1位 ()
- 2位 ()
- 3位 ()

デザイン (色や形) 生産国 フランド 価格
 手入れや管理のしやすさ サイズ感 (ゆったり?ぴったり?)
 素材 (綿 100% etc) 仕立て (縫い目がきれい etc) . . .

2. 次の言葉の意味を、教科書 P184~185 を参考にし、説明しなさい。

- (1) 衣服 { 上着や下着など主に胴体部を覆うもの。 }
- (2) 被服 { 衣服を含め、靴や帽子など体を覆うもの全般。 }

3. 被服の機能について、教科書 P185 を参考にし、下表の () に当てはまる言葉を入れなさい。
 また、具体例には下の【語群】より選んで答えなさい。

機能	働き	説明	具体例
保健衛生的機能	(体温調節) の補助	●暑さ・(寒さ)を防ぎ、(体温調節)を補助する	(セーター)
	身体の (保護)	● (汗) や (皮脂) を取り除き、(清潔) を保つ ●外界の (光) ・ (熱) ・ (害虫) ・機械的衝撃から身を守る	(肌着)
	(生活活動) への適合	●作業や運動などの (動的) な生活活動や、睡眠・休養などの (静的) な活動を補助する	(スポーツウェア)
社会的機能	(職業) や (所属) 集団の表示	● (職業) や (所属) を示す働きを持つ	(高校の制服)
	(社会慣習) への順応	●社会の (習わし) に従って喜びや悲しみの気持ちを表し、社会生活を (円滑) にする	(礼服)
	(自己) の表現	自分らしさや (個性) を表現する	

【語群】

セーター 肌着 スポーツウェア 礼服 高校の制服

2年家庭総合 課題プリント

衣生活分野 No.2

1. 被服の材料について、教科書 P192~193 を参考にし、下表の () に当てはまる言葉を入れなさい。

分類	繊維名	原料・作り方	特徴	性質	主な用途
天然繊維	植物繊維	綿 (綿花)	● (肌触り) がよい ●断面は中空で、側面にはねじれがある ●主成分はセルロース	● (吸湿性) が大きい ●強いが伸びは小さい ●ぬれても弱くならない ●しわになりやすい	外衣 肌着 寝具
		麻 亜麻	●触ると冷たく感じる ●主成分はセルロース	●熱に (強い) ●乾きにくい	夏用衣服 ハンカチーフ
	動物繊維	毛 羊など	● (保温性) が大きい	● (吸湿性) が大きい ● (アルカリ) に弱い	服地 セーター
		絹 (蚕) の繭	●断面が三角形で、側面が平滑であるため、しなやかで (光沢) がある	●紫外線で (黄変) ・劣化する ● (虫害) を受けやすい	和服 婦人服 ネクタイ
化学繊維	再生繊維	レーヨン	●肌触りがよい	●吸湿性がよい	婦人服
		キュプラ	天然のセルロースを利用して作る ●光沢があり、 (しなやか) である	●ぬれると (弱く) なり、縮みやすい ●しわになりやすい	裏地
	半合成繊維	アセテート	天然のセルロースに化学薬品などを作用させて作る ● (絹) に似た感触と光沢がある ●吸湿性がある ●熱可塑性がある		婦人服
	合成繊維	ナイロン	(石油) などを原料に、高分子化合物から繊維にする	●紫外線で黄変する	● (吸湿性) が小さい
ポリエステル		●比較的熱に (強い)		●引っ張りや摩擦に強い ●しわになりにくい	各種被服 和服地
アクリル		弾力性があり、 (保温性) がよい		● (熱可塑性) がある ●熱に (弱い)	セーター 毛布
ポリウレタン		● (伸縮性) が非常に大きい		● (静電気) を帯びやすい	水着

2. 民族衣装について、教科書やインターネットなどを使って調べよう

民族衣装名	国名 (民族名)	写真または絵
その民族衣装が発達した背景		
衣装に込められた意味		
その他に調べたこと		

